東陽の旋風（かぜ）～自律貢献～

令和５年７月１４日（金）No １４発行
文責：松本　卓也

確かな学力の育成に向けて Part1 ～学習状況調査編～

４月に i-Check（総合質問紙調査）を実施しました。i-Check とは、「自己肯定感」や「ソーシャルスキル」などの様々な視点で、子どもの個性や背景、今の心のありようを、立体的に描き出す調査です。子どもたち一人ひとりが自分を大切に思えているか、クラスの人間関係、いじめの実態、悩みなど、表出しにくい様々な情報を可視化することで、子どもをより深く理解したり、学級経営の改善に生かしたりするために活用されます。八代管内では、これまで課題が大きかった生活・学習習慣に関する６つの項目（八代の指標：①学習習慣、②学級の規範意識、③発信力　熊本の指標：①学習習慣、②学習意欲、③主体的な学び）について、すべての学校で課題意識を共有し、学力向上に向けた取組を推進することが求められています。東陽中の子どもたちの調査結果は、次の通りです。

指標	質　問　内　容（三つの指標）	１年生	２年生	３年生
八代	① 学校の授業以外で、週に何日くらい勉強していますか。	ほぼ毎日と回答した生徒の割合		
		100.0 △	38.5 △	62.5 △
八代	② クラスの人がふざけたり、おしゃべりをしたりして、授業に集中できないことがありますか。	良好でないと回答した生徒の割合		
		7.7 △	15.4 △	37.5 ▼
八代	③ あなたは、学校生活の中で何回ぐらい、自分の意見を発表したり、先生の質問に答えたりしていますか。	当てはまると回答した生徒の割合		
		46.2 △	61.5 △	75.0 △
県	① 勉強するときは自分で計画を立てていますか。	立てていると回答した生徒の割合		
		84.6 △	69.2 △	62.5 △

※全国に対し、「プラスを△、マイナスを▼」で表示　※県の指標②、③は今回の i-check では調査なし

昨年度、大きな課題であった「学習習慣（家庭学習の習慣化）」が大きく改善していました。保護者の皆様の側面からの支援（ペースメーカー・サポーター・ファシリテーター）に感謝します。ありがとうございました。また、授業中の「発信力」に関しても肯定的な回答が見られましたが、3年生の「規範意識」には、昨年同様、課題があることがわかりました。夢を実現するための礎となる「確かな学力」の育成に向け、基盤となる安心して学べる学級環境を構築していきたいと思います。具体的には、①「社会科」、「特別の教科　道徳」、「特別活動」において、規範意識を高め、法やきまりの意義などを学ぶ学習の充実を図る、②様々な活動において、子どもたちが役割や責任を果たしていく場を多く設定し、「感謝されてうれしかった」、「誰かの役に立てている」といった規範意識を支える自己有用感を高める、③子どもたちが互いのよさを見付けたり違いを尊重したりしながら互いを認め合う人間関係を育てていく、以上の取組をこれまで以上に進めていきます。ご家庭でもお子様の授業中のようすについて話題にしていただければ幸いです。

地域の教育力に助けていただいています

八代市では、地域と学校が連携・協働して、幅広い地域住民等の参画により地域全体で未来を担う子供たちの成長を支える「地域学校協働活動」を推進しています。先月 29 日（木）、2年家庭科の授業でお二人のサポーターにお越しいただきました。「基本的な縫い方をマスターしよう」のめあてで、なみ縫い、本返し縫い、まつり縫いの実習でした。これまで、家庭でボタンや名札の縫い付けを経験していた生徒もいましたが、ほとんどの人は初めて？のようで悪戦苦闘！慣れない手つきで頑張っていました。それを見かねて優しくアドバイスしてくださる O 様、M 様に、地域の教育力のありがたさを感じました。

進路選択や将来の生き方について考える

10 日（月）11 日（火）、キャリア教育の一環として、高校説明会を開催しました。自校のさまざまな特色を動画やプレゼンでわかりやすく説明していただきました。本校の卒業生が参加してくれた高校や、制作したものをプレゼントしてくださった高校もあり、子どもたちは大変喜んでいました。10 年後、20 年後の自分の姿を思い描いて、社会の中で自分の役割を果たしながら自分らしい生き方を実現していくために、主体的な「進路選択」をしてほしいと思います。説明していただいた各高校の先生方、卒業生の皆さん、これからの生き方を考える大きなきっかけを与えていただきました。ありがとうございました。

※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名（　　）